

北京で過ごしたお正月～廟会に行ってきました～

北京事務所

今年2月の春節（初一：2月10日）は、昨年4月に北京に赴任した私にとって初めて過ごすお正月ということもあり、春節の連休期間は北京に滞在していました（※ 春節の説明については、今月のメールマガジンの記事「[知っておきたい中国の重要行事！！](#)」を参照ください）。

中国で春節期間に行われる有名な行事の1つに廟会と呼ばれるものがあります。今回、その廟会（びょうえ）に行ってきましたので、その様子をご紹介します。

廟会とは

昔、北京には多くのお寺があり、廟会の本来的な意義は、宗教活動で神様や仏様に対する祭りを行う行事でした。祭りに来る参拝客によってお寺が賑わうと、その人出を当て込んだ露天商や芸人たちが集まるようになりました。廟会という言葉も「市が立つ」という意味になって使われるようになり、宗教活動より、それに付随して起こる商業活動や娯楽文化行事の方に、だんだん重点が置かれるようになってきました。

現在、春節期間に北京で開催される廟会は、軽食や雑貨などの屋台がすらりと並び、文芸公演や工芸デモンストレーションなど様々なイベントが催されるものが主流で、多くの場所で開催されます。今回は、その中で2か所（地壇公園・円明園）の廟会に行ってきました。

地壇公園の廟会

地壇公園は、北京市東城区に位置する公園で、普段は憩いの場所として親しまれています。天円地方（天は円く、地は方形であるという古代中国の宇宙観。中華文化圏の建築物や装飾のモチーフとして用いられる。）をもとにつくられており、公園の主な建築物は正方形になっています。地壇公園の廟会は大変規模が大きく、毎年、多くの北京市民や観光客などで賑わいます。今回、初一の2月10日に行ってきた



地壇公園の入り口

ましたが、この日は、初一ということで多くの人々が来場することが想定されていたため、最寄りの地下鉄駅が閉鎖されており、1つ隣の駅から徒歩で向かいました。

公園の門（入り口）は春節の飾り付けで華やかな雰囲気になっていて、自然とお祭り気分が盛り上がってきます。

公園の中に入ると、いくつかのコーナーに分かれていて、入り口付近のコーナーには、玩具や雑貨が売られている屋台が並んでいました。また、ゲームコーナーや中国各地の軽食・特産品・工芸品の屋台も数多く並び、多くの人で混雑していました。また、園内の随所でショーが行われていました（蛇年にちなんで蛇つかいショーもありました。蛇が怖いので実物は見ていません）。

園内の装飾の色使いは中国らしいものでしたが、廟会に来ている人達は家族連れやカップルが多く、買ってもらった玩具を嬉しそうに抱えている子供達を見かけるなど、日本のお祭りの縁日とよく似ているところも多かったです。

ところで、日本で人気のアニメやキャラクターグッズを売っている屋台を多く見ましたが、そのすぐ隣の屋台で反日グッズが売られている光景を目にしました。こういう伝統行事にも現在の日中関係が影響を及ぼしているのかと思うと複雑な気持ちになりました。



日本のアニメグッズが売られていました



中国各地の伝統工芸品を売る屋台

円明園の廟会

2月12日には、円明園で開催された廟会に行ってきました。円明園は北京市北西に位置している清朝時代の離宮跡で、観光名所の1つですが、2010年から「皇室文化」をテーマにした廟会を春節期間に開催しています。

園の中に入ると、寒さで凍っている池が氷上遊園地として開放(有料)されていました。「氷上遊園地は、皇室文化とはあまり関係ない気がするが、縁日だから楽しいアトラクションは必要かな」と思いながら、園内を進んでいくと、ステージや氷上(凍っている池の上)で皇室文化をテーマにしたショーが開催されていました。

ちょうどタイミング良く、氷上のショーを観覧することができましたが、昔の皇族衣装に身を包んだ若い男性や女性(見た目は高校生くらいの年齢)が出演するスケートショーで、出演者達が一所懸命スケートをしながら、パフォーマンスをする姿に多くの人々が歓声をあげていました。

さらに、奥へと進んでいくと「皇家買売街」という



円明園の入り口前。中国では赤と黄が縁起の良い色の組み合わせです。



スケートショーの様子

名前の屋台街に到着しました。屋台街には北京料理の軽食の屋台やゲームコーナーがあり、多くの人で賑わっていました。ただ、地壇公園と違って、屋台が並んでいるのはこのエリアだけで、皇室文化をテーマにしたショーを見せることに重点を置いていることもあり、同じ廟会でも、円明園の方は、観光地の中ということもあってか、より中国らしい雰囲気を楽しむことができました。



籠や運ぶ人も宮廷文化風(?)



軽食の屋台

おわりに

春節期間中、故郷に帰っている人が多いためか、北京の街は普段に比べて車も人も少なかったのですが、廟会は本当に多くの人で賑わっていて、市民の皆さんにとって、春節期間の大きな楽しみになっているということが良くわかりました。また、屋台で中国の食べ物や工芸品などを売っているため、中国の文化や中国人の嗜好を気軽に体験するには大変良い機会でした。

除夕(大晦日)の晩から、鳴り響く爆竹・花火の音を聞き、廟会で人波に飲まれながら、中国での初めてのお正月はあっという間に過ぎていきました。

CLAIR

(水越所長補佐 京都府派遣)